



八卦台

令和5年2月1日発行
男鹿市立潟西中学校
校長 鳥井 雅則

第10号



反省、そして前進!

年末年始は暖冬で積雪もなく、暖かい日々が連続しましたが、やはり秋田の冬です。もう周りはしっかり雪が降り積もり、雪国らしい冬が到来しました。

生徒たちは12月の閉校式を大成功に導き、この後の統合に向けて着実に準備を継続しています。左の潟中ソーランの様子を見ても分かるように、生徒の活躍は秀逸で、多方面からお褒めの言葉をいただきました。感謝いたします。

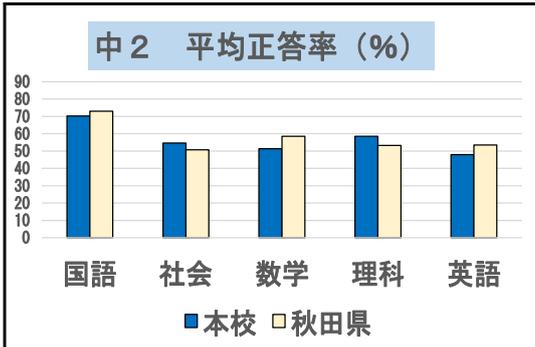
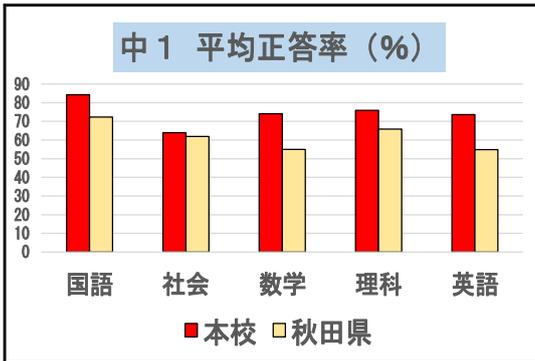
さて、生徒にとっては、2月は進級(統合)や進学をするための準備を開始する月でもあります。もう一度自身の生活を振り返り、「来年はどのように過ごすのか」「何を頑張るのか」、再確認が必要となります。反省があるからこそ前進があると考えるからです。3年生にとっては、受験による進路実現という一番辛く苦しい時期を迎えます。出口のないトンネルはありません。トンネルを抜けると、そこには春が待っています。もう少しの辛抱です。気を引き締めて、最後の最後の最後まで勉強を頑張ることを期待しています。

県学習状況調査の結果から

昨年の12月初旬に、全県の1・2年生が実施した「秋田県学習状況調査」の結果が1月に公表されました。本校の結果とともに、今後の取組について報告します。

☆1年生はグラフでも分かるように、5教科全てで県平均を上回りました。相当高いレベルにあると言えます。教科別に見ると数学や英語での正答率が特に高かったのが印象的でした。

☆2年生は、5教科合計では県平均を若干下回りましたが、ほぼ県平均並みであると言えます。また、社会や理科では県平均を上回っていること、この学年の昨年と経年比較すると成績が一年間で向上していることを考えると、学習の効果は少しずつ表れてきていると見ることができます。今後は、より伸ばしたい領域の更なる向上と、弱点領域での課題克服を併せて目指します。



質問紙：県平均との比較

S : +5%超 A : +5% - 5%
B : -5% ~ -15% C : -15%超
※3年は昨年の県データと比較

質問紙：県平均との比較	1年	2年	3年
勉強が好きだ	B	S	S
勉強は大切だ	A	A	A
学校の勉強がよく分かる	A	A	S
普段の生活や社会に出たときに役立つよう勉強したい	S	A	S
学校が楽しい	S	A	A
自分にはよいところがある	A	A	A
将来の夢や目標をもっている	B	B	S
人の役に立つ人間になりたいと思う	A	B	A
地域のためになる活動に進んで取り組みたい	B	A	A
授業でICT活用、ほぼ毎日、週一以上	S	S	S

☆質問紙調査では、昨年は評価Cも各学年でいくつかありましたが、今年は劇的に変化しました。Sの項目が増加したほか、Aの割合も格段に増えました。何よりうれしいのは、毎年弱かった「自分にはよいところがある」が全学年で県平均を上回り、A評価となったことです。閉校に向かって、全校一丸となって取り組んだ学校行事や地域の方々や保護者の皆様のバックアップのお陰です。自己肯定感や自己有用感が醸成している証でもあります。本当に感謝しております。さらに、全学年で「ICT機器の活用も十分である」というS評価もうれしい限りです。このあと統合に向けて生徒のもつよさを更に伸ばすことができるよう、職員一同努力してまいります。

栄光の足跡

鴻中生の
活躍



☆男鹿市スポーツ賞

- ・奨励賞(個人) 石〇〇さん
- ・栄光賞(個人) 石〇〇〇さん、石〇〇〇さん
- ・栄光賞(団体) 石〇〇〇さん、石〇〇さん

2月の行事予定

1	水	若美コミュニティセンターでアルバム展示～19日
2	木	第4回学校運営協議会
6	月	「シェフト」給食でプロのシェフとコラボメニュー
7	火	PTA研修部編集委員会17:35～
10	金	3年実力テスト
11	土	建国記念の日
15	水	職員会議
17	金	学年末PTA
18	土	男鹿市スポーツ賞授賞式
19	日	テスト前部活動休止期間～23日
20	月	アウトドア・チャレンジDays～23日
23	木	天皇誕生日
24	金	1、2年後期期末テスト
28	火	⑥合唱練習 生徒会各委員会

鴻中 HOME

☆鴻中アーカイブ

※写真や動画から振り返る鴻西中学校の足跡
昭和30年の開校から今日までの本校の様子が分かるように、2/1(水)～19(日)の約2週間、若美コミュニティセンター2階図書室を会場に、展示会を開きます。過去の古い写真や卒業アルバム、閉校式の様子(DVD)など自由に参観できます。ぜひご覧ください。たくさんの皆様のご来場をお待ちしています。

基礎テスト(社会)

12月中旬に、5回目となる基礎テスト(社会)を実施しました。80点以上が合格です。

結果は次のとおりです。頑張っただけ、成果となって表れています。

- ・1年合格7名(満点7名)5回連続100%合格!
 - ・2年合格16名(満点13名)
 - ・3年合格22名(満点20名) 100%合格!
- ちなみに、5回とも1回で合格した生徒は、
- ・1年6名(内、5教科全て満点5名)
 - ・2年11名(内、5教科全て満点6名)
 - ・3年18名(内、5教科全て満点9名)

おめでとう!



でした。

☆球技大会 12/9

生徒が楽しみにしていた球技大会を今年も実施しました。バスケットボール(5チーム出場)とバドミントン(22ペア出場)の2種目で汗を流しました。体育館いっばいに、笑顔と声援と熱気に包まれた一日となりました。生徒会執行部や保健体育委員が、進行や運営を一手に引き受けて進めてくれました。白熱した試合が続ぎ、みんな満足した表情でした。



☆マシュマロ・デコレーション 12/16



英語の時間に、全学年ともマシュマロデコレーション(アメリカでクリスマスの日にはホットココアにマシュマロを溶かし飲むという習慣?)を楽しみました。「上手くてきた」「かわいい」など、雪だるまふうやトナカイふうのデコレーションしたりして楽しんでいました。にこにこの一日でした。

☆先生たちも授業の腕を磨き合ってます!

「授業を見合う会Ⅱ」12/1理科、12/22技術
12月から1月にかけて、職員の校内研修で、授業改善を目指して、「授業を見合う会Ⅱ(ICTを活用した授業)」を行いました。今回は2回目です。3年技術科の授業では、「レーサーカーの動き」について、プログラミング学習で試行錯誤しながら学習し、タブレットや電子黒板等のICT機器をふんだんに活用しながら、ねらいに迫っていました。3年生の理科の授業では、「月の満ち欠け」について、小グループで模型やタブレットを用いて撮影しながら、パワーポイントで整理して発表し、互いの考えを検証していました。学習内容を深め合う様子が見られました。このように授業改善を目指して、先生たちも日々授業改善に取り組んでいます。タブレット端末や電子黒板もたっぷり活用しながら「令和の日本型学校教育」を目指して頑張ります。



☆伝統行事「なまはげ」への参加 12/31

釜谷地の伝統行事「なまはげ」に3年生の鎌〇〇さんが参加してくれました。中学生の参加は例がないようで、NHKも取材に来ていて、インタビューを受けました。歴史上、いち早くなまはげが紹介されたのが、菅江真澄の文献で「旧若美のなまはげ」だったそうです。最近はこの地域行事もどんどんなくなっています。そんな中で、楽翔さんの自分から地域の伝統行事に参加するという事は、とても貴重な取組です。これこそふるさと愛です。

